



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック



証券コード
2479

ONE TEAM

—いまこそ、1つに—

株式会社 ジェイテック

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月28日
代表取締役社長 藤本 彰

当社グループは新型コロナウイルスの感染防止策として、シフト勤務やリモートワーク（在宅勤務）、Web会議の活用、マスク・消毒液の配布など、従業員及びお客様の安全・衛生に配慮した対応を実施しております。

(1) お客様ごとのご要請に応じた対策

お客様の状況に則した柔軟な対応

(2) 勤務・業務形態の変更

オフピーク通勤の継続、シフト勤務・リモートワーク（在宅勤務）の推進、

Webを活用した会議や業務の効率化、不要不急な出張・移動の自粛

(3) 従業員の健康管理

本人・同居家族が発熱時に出勤禁止、非接触型体温計の常備、マスクや消毒液の配布

目次



(1) 会社概要

ジェイテックグループについて	P. 4
メインビジネスモデル	P. 5
技術職知財リース事業	P. 6

(2) 第25期（2021年3月期）決算概要

連結損益計算書（通期）	P. 8
連結損益計算書（四半期別）	P. 9
業種別売上構成（連結）	P. 10
売上上位の顧客企業（連結）	P. 11
技術要員構成（連結）	P. 12
要因分析（JTEC単体）	P. 13
売上高要因分析 4要素	P. 14
利益要因分析 2要素	P. 18
連結貸借対照表	P. 20
連結キャッシュフロー計算書	P. 21

(3) 第25期（2021年3月期）状況総括

技術者派遣業界の事業環境	P.23
法制度関連における当社の人材派遣	P.24
新規受注状況について	P.25
配当について	P.26

(4) 経営理念の実践

経営理念	P.28
経営理念の施策	P.29

(5) 中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）

中期経営計画の基本目標	P.35
-------------	------

参考資料

ONE TEAM



(1) 会社概要

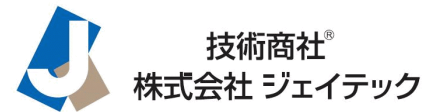
(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

(3) 第25期 (2021年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期)

(1) 会社概要 ジェイテックグループについて



技術者の地位向上と業界最高の収入を実現し
創造的個人経営者集団を形成させる。



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

代表取締役 藤本 彰
資本金 2億6,183万円
社員数 222名 (2021年3月末)
技術職知財リース事業
(機械、電気電子、ソフトウェア)
設立 1996年8月16日



株式会社 ジェイテック
アドバンステクノロジー

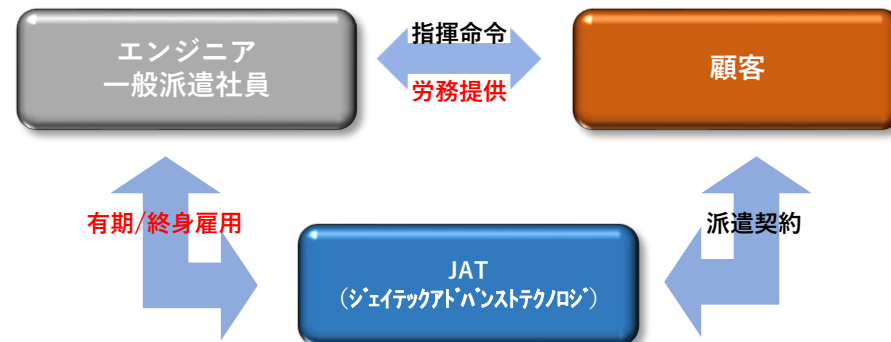
代表取締役 佐野 清一郎
資本金 5,000万円
社員数 215名 (2021年3月末)
一般派遣及びエンジニア派遣事業
介護・福祉サービス事業
有料職業紹介事業、紹介予定派遣事業

(1) 会社概要 メインビジネスモデル

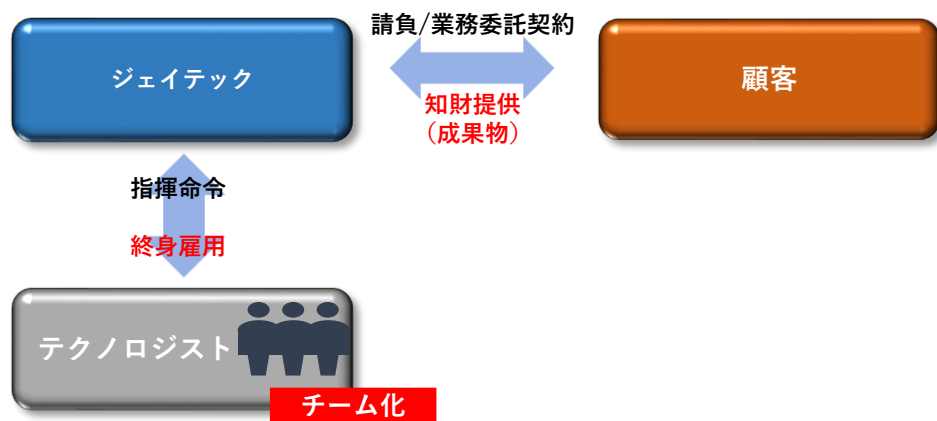
技術職知財リース事業（派遣）



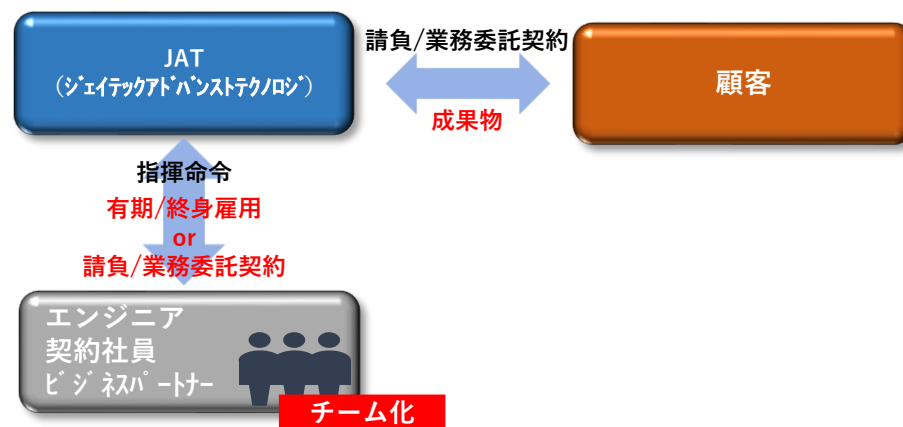
一般派遣及びエンジニア派遣事業（派遣）



請負型技術職知財リース事業（請負/業務委託）



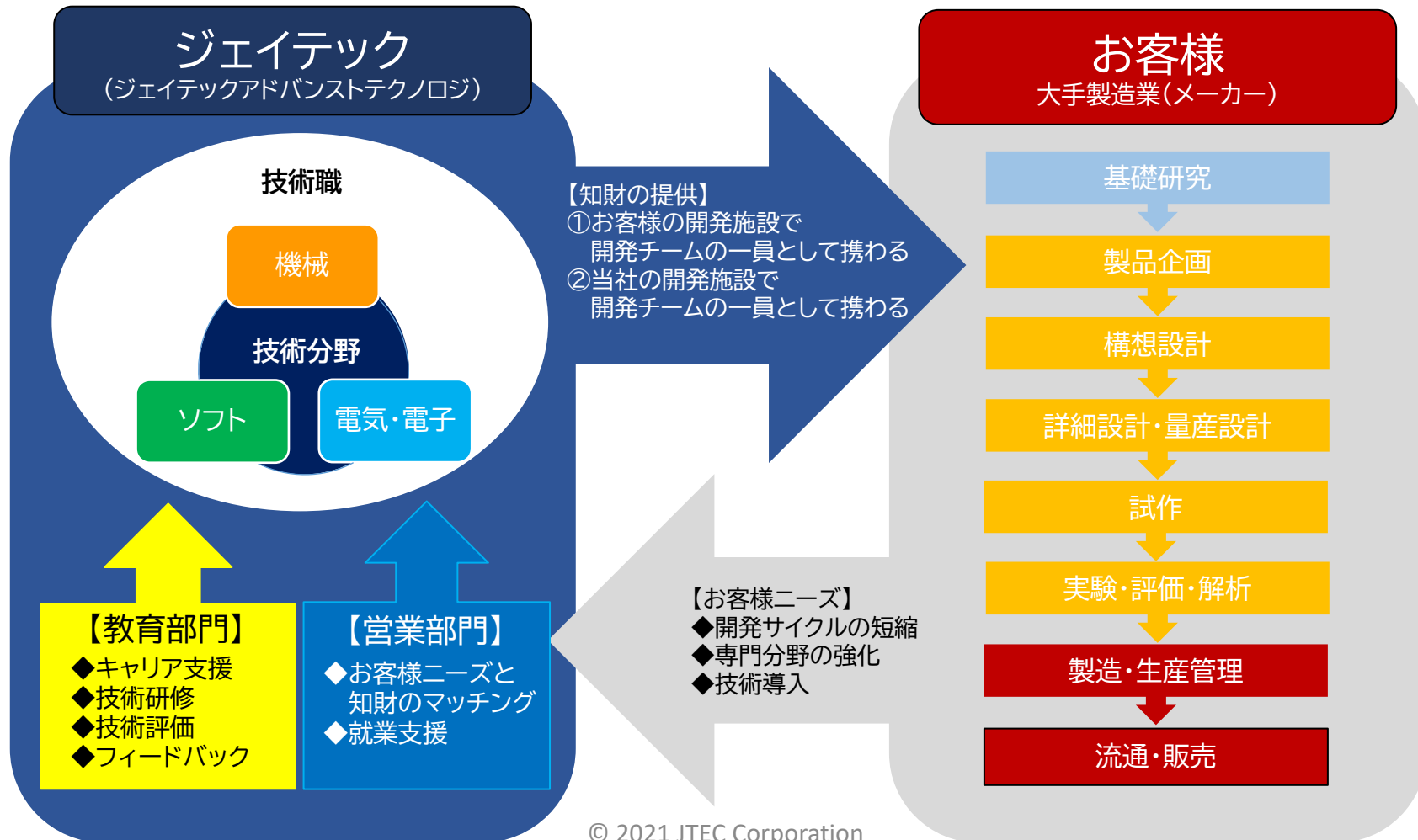
請負/業務委託事業



(1) 会社概要

技術職知財リース事業

お客様が抱える様々な技術課題を、弊社が持つ知財（技術力・専門知識・知恵）を提供することで解決していく事業です。



ONE TEAM

(1) 会社概要



(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

(3) 第25期 (2021年3月期) 状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期)

(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 連結損益計算書 (通期)



技術商社®
株式会社 ジェイテック

- 売上高 : 前年同期比 8.7%減少 コロナ影響で、ロースキル人材の派遣低調
- 販管費 : 前年同期比 6.3%増加 合理化推進するも採用費増が影響
- 営業利益 : 前年同期比 1.97億円減少 売上減響く

	2020年3月期		2021年3月期		対前年 増減値 (百万円)	対前年 増減率
	実績 (百万円)	構成比	実績 (百万円)	構成比		
売上高	3,034	100.0%	2,771	100.0%	-262	-8.7%
売上原価	2,227	73.4%	2,119	76.5%	-107	-4.8%
売上総利益	807	26.6%	651	23.5%	-155	-19.2%
販管費	665	21.9%	708	25.6%	42	6.3%
営業利益	141	4.7%	-56	-2.0%	-197	-
経常利益	139	4.6%	78	2.8%	-60	-43.6%
税金等調整前 当期純利益	134	4.4%	76	2.8%	-57	-42.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	3.0%	40	1.5%	-49	-55.2%

(単位：百万円)

(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 連結損益計算書 (四半期別)



- 採用活動強化と教育関連含む設備投資 ⇒ 販管費増
- 雇用調整助成金と補償金 営業外収益計上 ⇒ 経常利益 プラスで着地

2020年3月期										
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期			
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	744	100.0%	768	100.0%	742	100.0%	779	100.0%		
売上原価	546	73.4%	573	74.6%	546	73.6%	560	72.0%		
売上総利益	197	26.6%	195	25.4%	195	26.4%	218	28.0%		
販管費	180	24.3%	167	21.7%	153	20.7%	164	21.1%		
営業損益	17	2.3%	28	3.7%	41	5.7%	53	6.9%		
経常損益	17	2.3%	27	3.5%	41	5.6%	53	6.9%		
親会社株主に帰属する当期純損益	10	1.4%	17	2.3%	26	3.5%	35	4.6%		

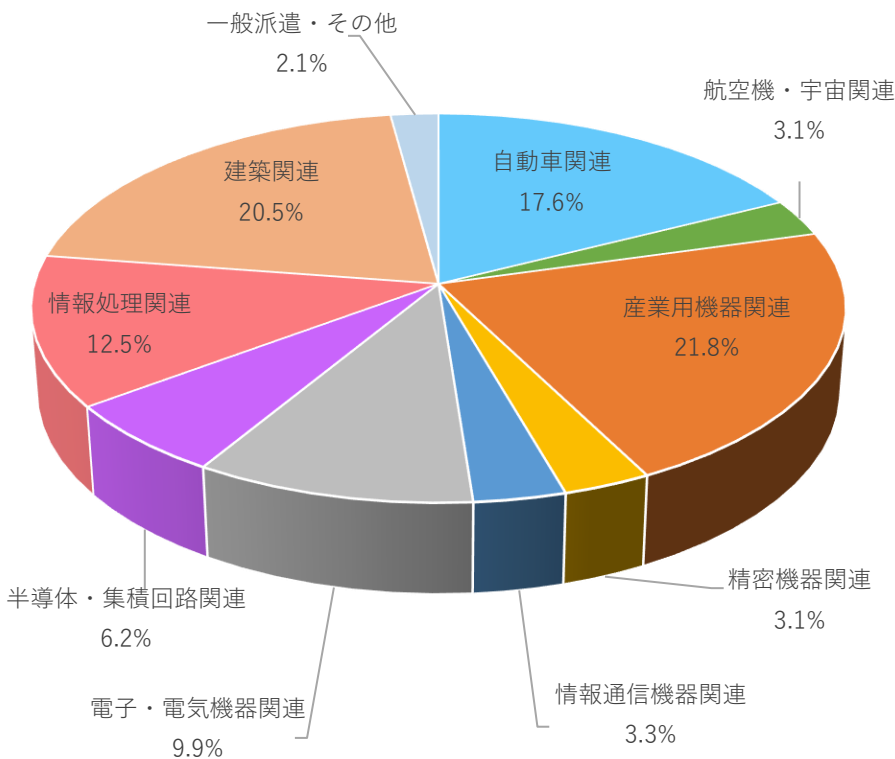
2021年3月期										
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期			
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	680	100.0%	686	100.0%	693	100.0%	710	100.0%		
売上原価	526	77.3%	536	78.1%	527	76.1%	529	74.5%		
売上総利益	154	22.7%	150	21.9%	165	23.9%	181	25.5%		
販管費	175	25.8%	168	24.5%	171	24.7%	192	27.1%		
営業損益	-21	-3.1%	-18	-2.6%	-5	-0.8%	-11	-1.6%		
経常損益	-16	-2.4%	16	2.5%	45	6.6%	32	4.6%		
親会社株主に帰属する当期純損益	-12	-1.9%	8	1.2%	11	1.7%	33	4.7%		

今期
採用および教育関連
費用の増加

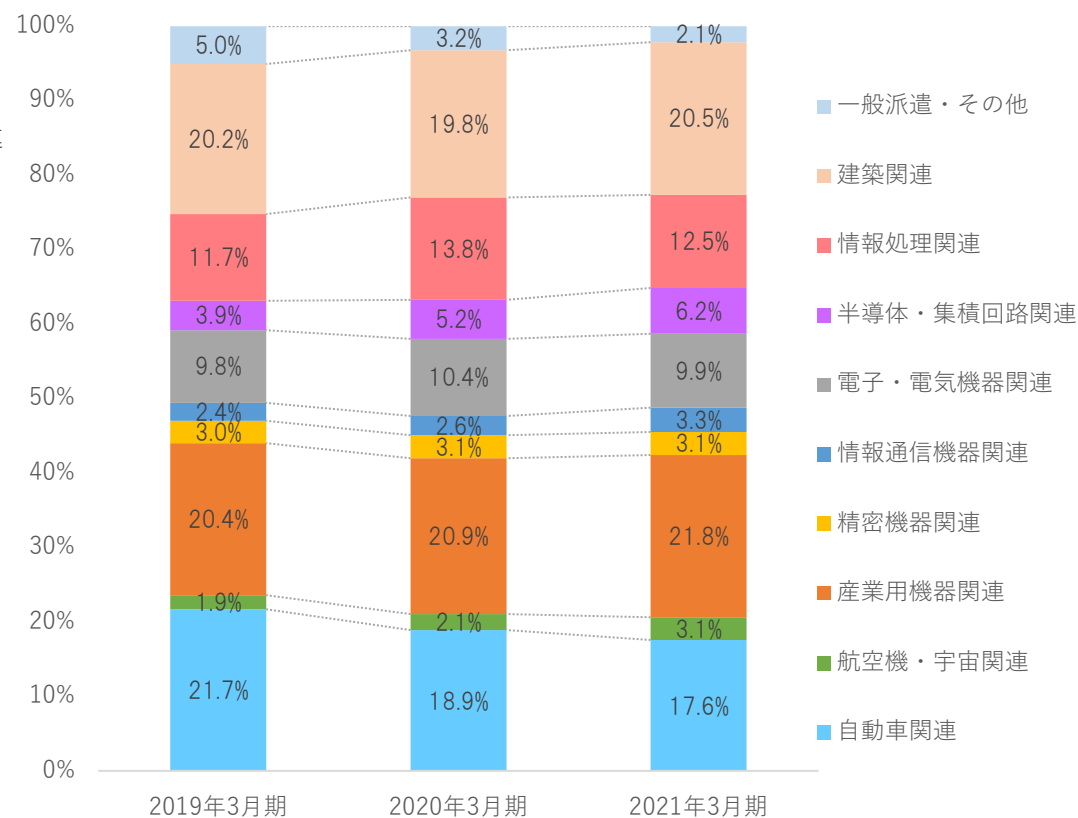
(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 業種別売上構成 (連結)

- 自動車関連：全体の17.6%
- 建築関連：全体の20.5%
- 産業機器関連：全体の21.8%
- 業種別売上構成比の分散化は継続

業種別売上構成



売上構成比推移



(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 売上上位顧客企業 (上位10社)

- 幅広い業種の顧客企業と取引
- 上場企業、及び優良中堅企業160社以上

- 高単価・高付加価値業務はコロナ禍影響少
- **情報通信・産業機械関連**需要が堅調



- ヤマハ
 - デンソーテン
 - アイシン・ソフトウェア
 - 本田技術研究所
 - SUBARU
 - リコージャパン
 - 三菱電機メカトロニクス
 - ヤマハ発動機
 - LIXIL
 - 東レエンジニアリング
- ※敬称略・順不同

(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 技術要員構成 (連結)

➤ 在籍数

● テクノロジスト数

2021年3月期末 **387名**
2021年4月1日付 **483名**

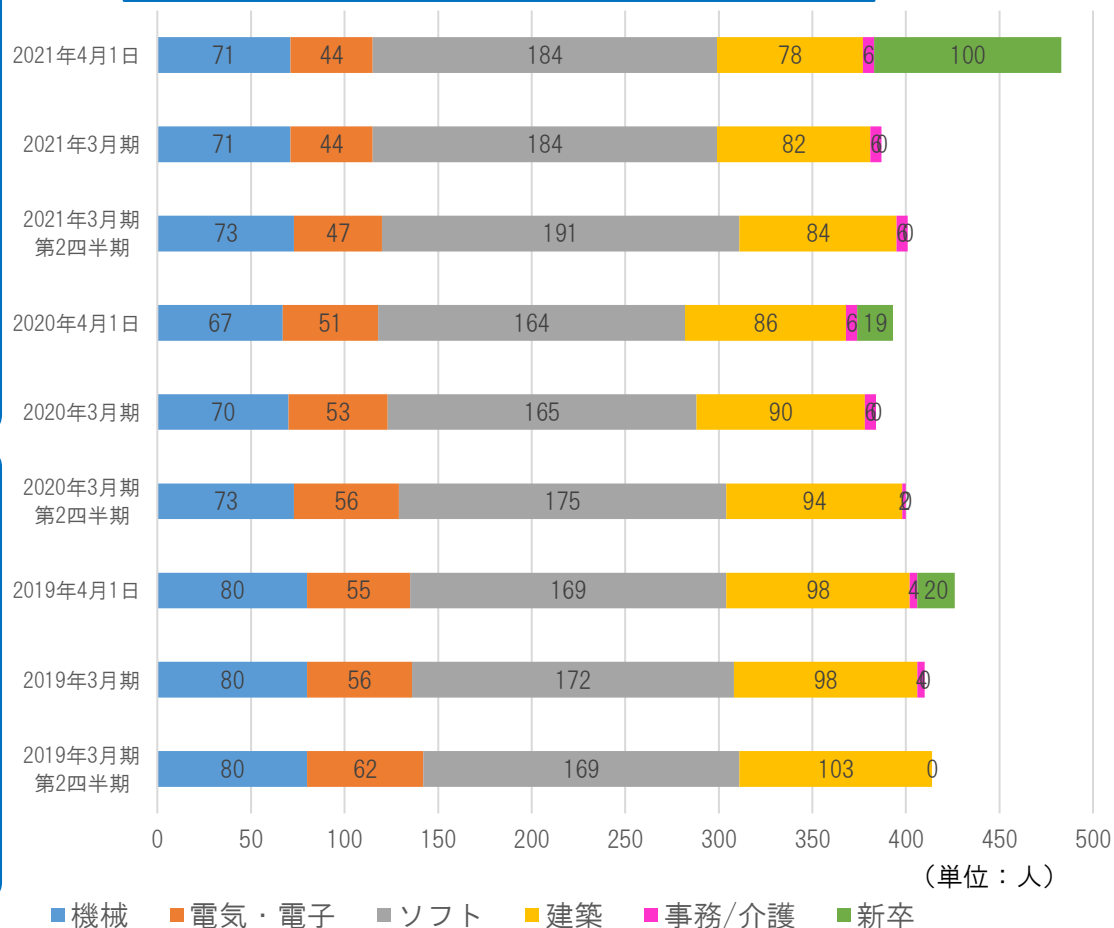
● 新卒採用

2021年度 4月入社 **100名**
10月入社 **2名**

➤ 分野：

- 創業以来最多となる100名の新卒を迎える
- 新卒はすべて理工系出身
- ソフト分野のテクノロジストが最も多い

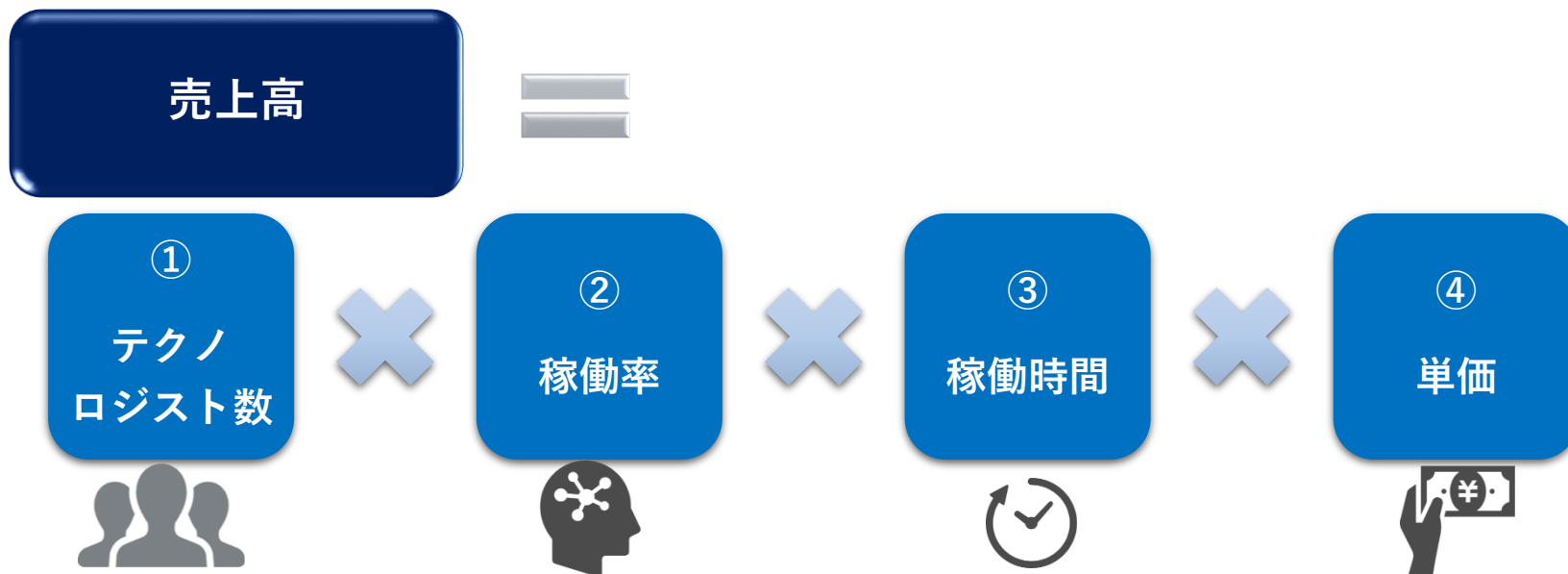
技術分野別テクノロジスト数推移 (連結)



(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 要因分析 (JTEC単体)

◆売上高要因分析 4 要素

- ① テクノロジスト数 ② 稼働率 ③ 稼働時間 ④ 単価



◆利益要因分析 2 要素

- ① 売上原価 ② 販売費および一般管理費

(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

① テクノロジスト数 (JTEC単体)

➤ 在籍数

● テクノロジスト数

2021年3月期末 **183名**

2021年4月1日付 **212名**

● 新卒採用 (技術系)

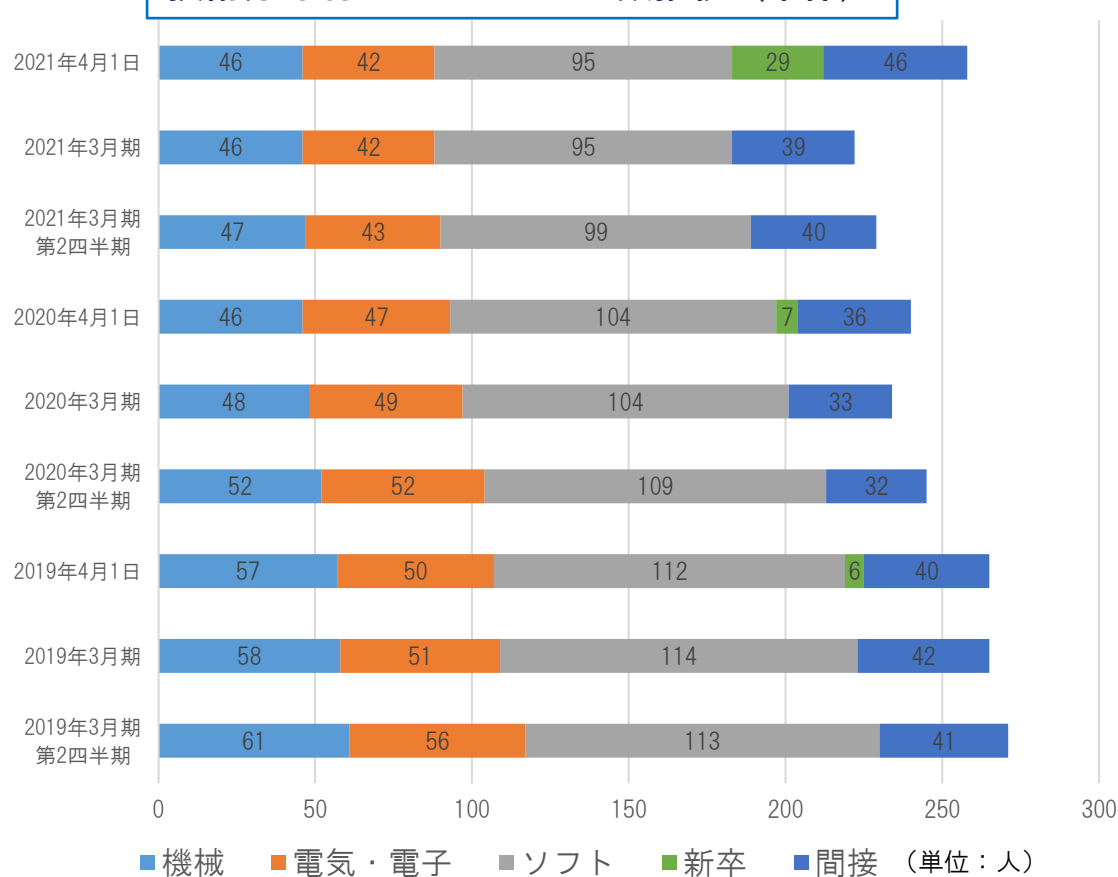
2022年度4月入社 **29名**

(前年同期 7名)

➤ 分野比率

ソフトウェア系テクノロジストが
約5割強

技術分野別テクノロジスト数推移 (単体)

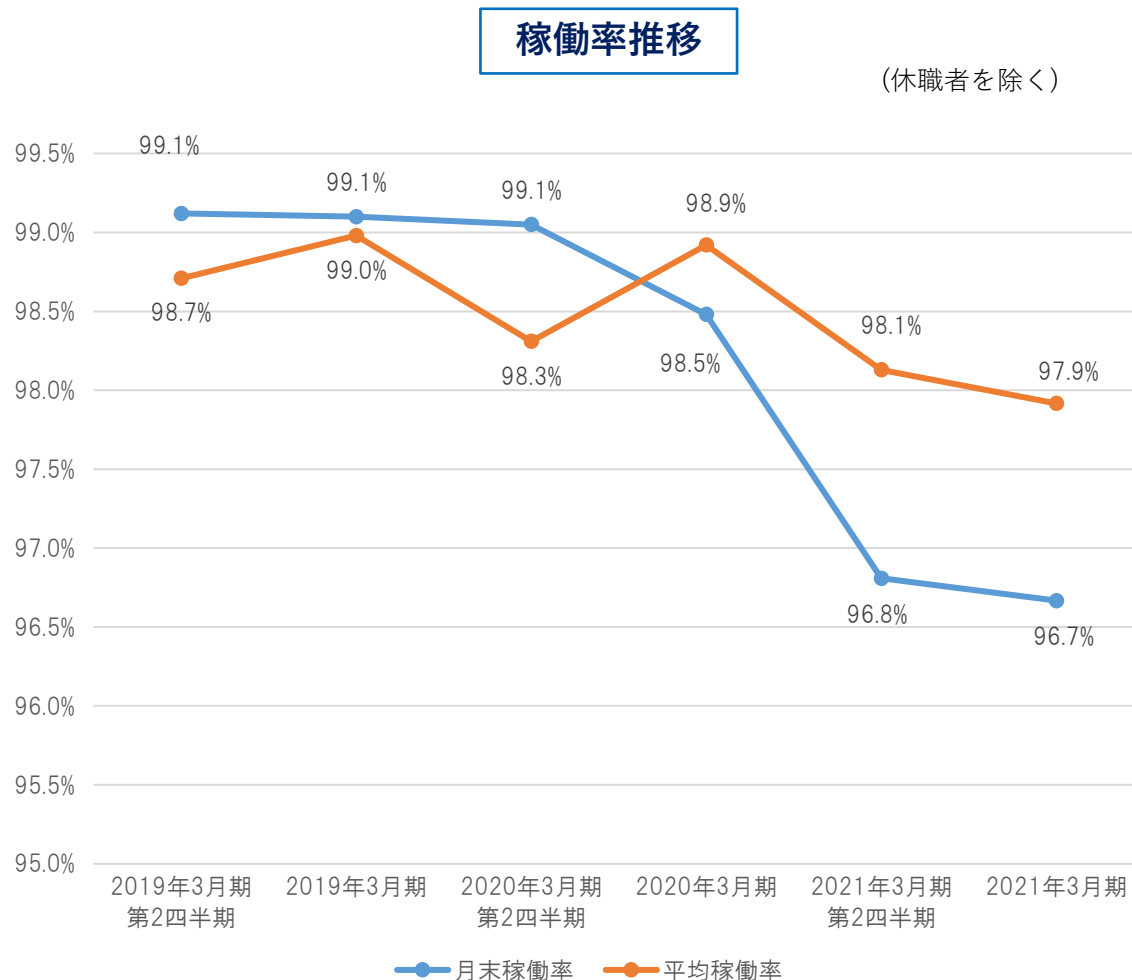


(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

② 稼働率 (JTEC単体)

- 2021年3月末の稼働率は96.7%と前期比で低下となった。
- 平均稼働率は98%前後を維持
- ロースキル案件がコロナ影響で減少
- 一部の顧客でコロナ禍に伴う休業指示が出るなど、稼働率減に影響する事案発生



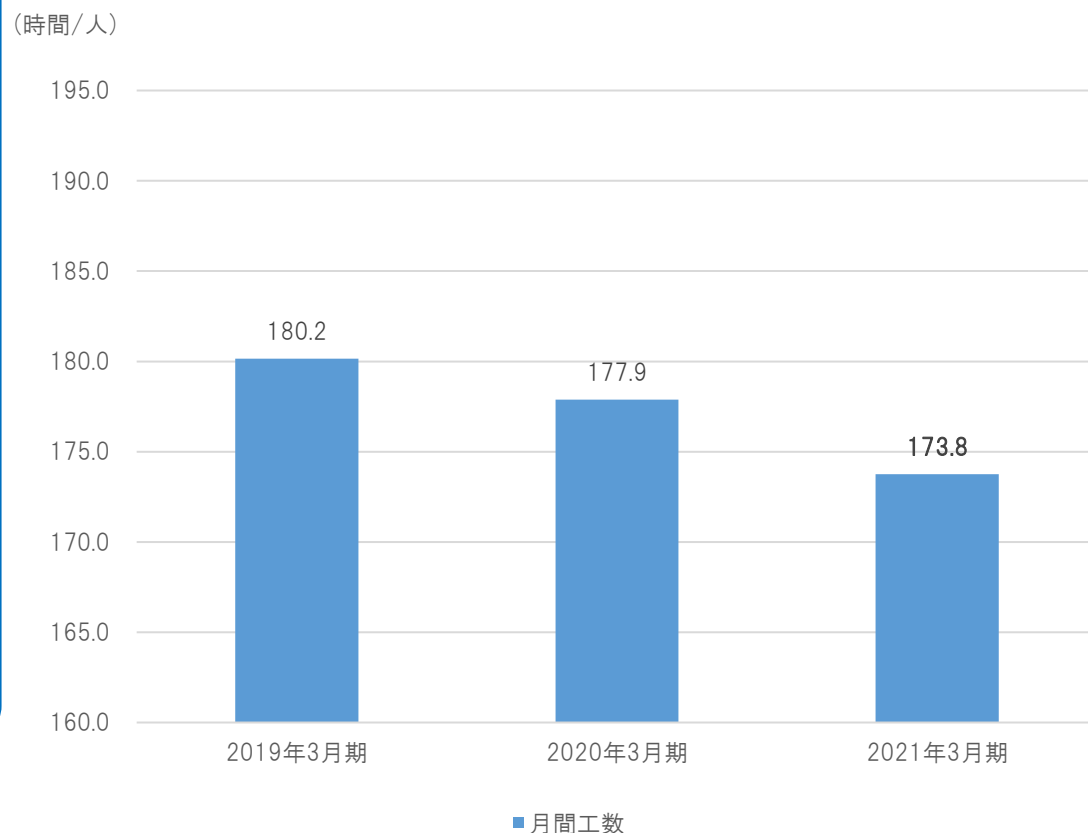
(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素

③ 稼働時間 (JTEC単体)

- 平均月間工数 173.8時間/人
(過去5年間の平均 179.5時間/人)
- 前年同期より約3.2時間の減少
働き方改革の促進と相まって、
コロナ対策の影響で在宅勤務、
シフト勤務、時差出勤の要請増加。
出勤日数・残業抑制が響き、
時間外工数が減少

平均月間工数の推移



(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

売上高要因分析 4 要素



技術商社®
株式会社 ジェイテック

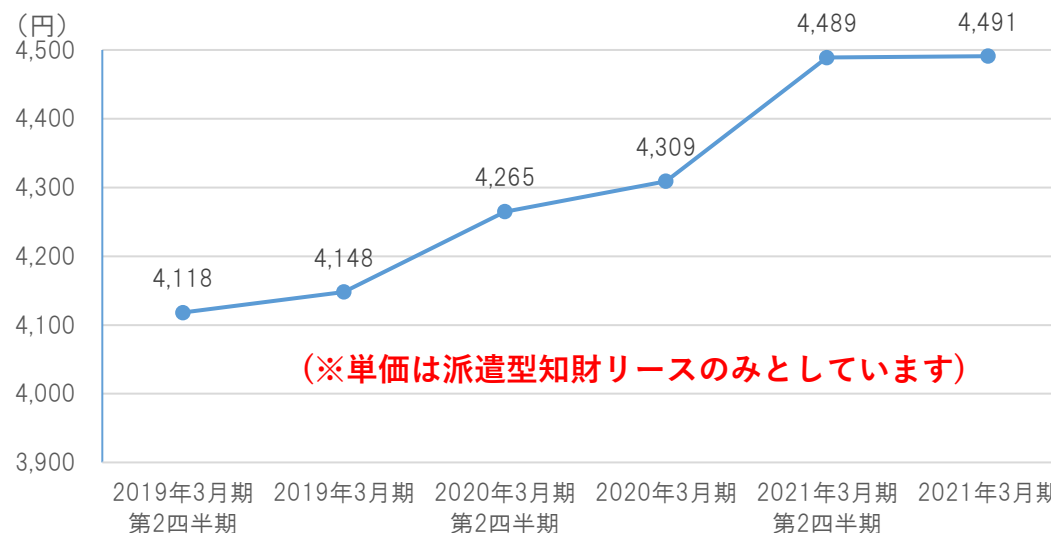
④ 平均単価 (JTEC単体)

- 前年度に引き続き上昇も、コロナ影響により下期単価横ばい傾向
- 2021年3月期は 4,491円 (前年同期比 4.22% アップ)

※派遣型知財リースのみの単価

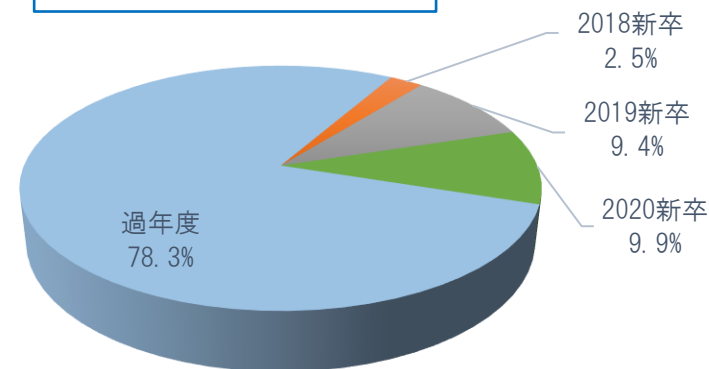
- 単価の要因
 - 高単価・高付加価値業務への戦略的ローテーション
 - 在籍テクノロジストの技術力が顧客企業に高い評価
 - 若手増加により平均単価の伸びは鈍化傾向

平均単価の推移



(※単価は派遣型知財リースのみとしています)

若手テクノロジスト割合

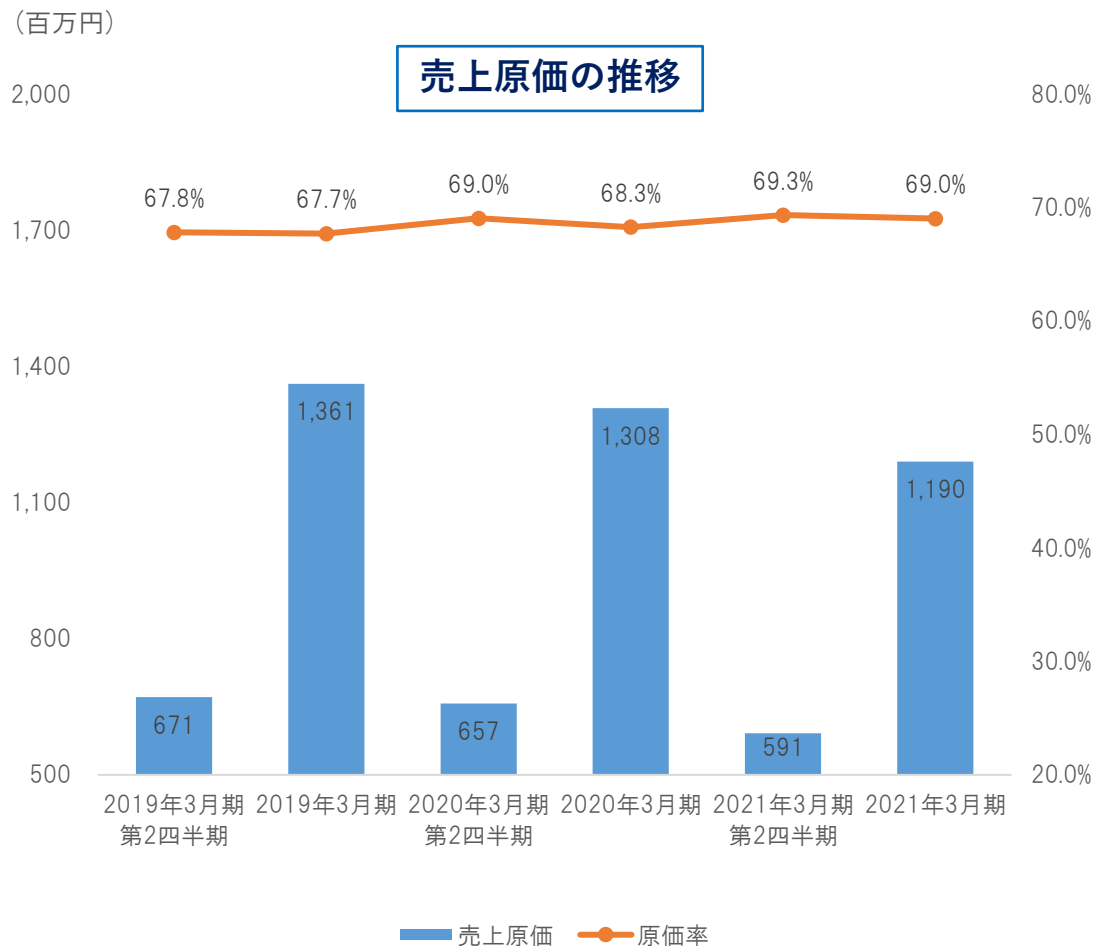


(若手：2018～20年新卒採用社員で、比率約22%)

(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 利益要因分析 2要素

① 売上原価 (JTEC単体)

- 原価率は70%以下にコントロール
- 各種合理化推進は本年も継続し、一定の効果
- コロナ禍でも全従業員に例年と同水準の賞与支給を行った

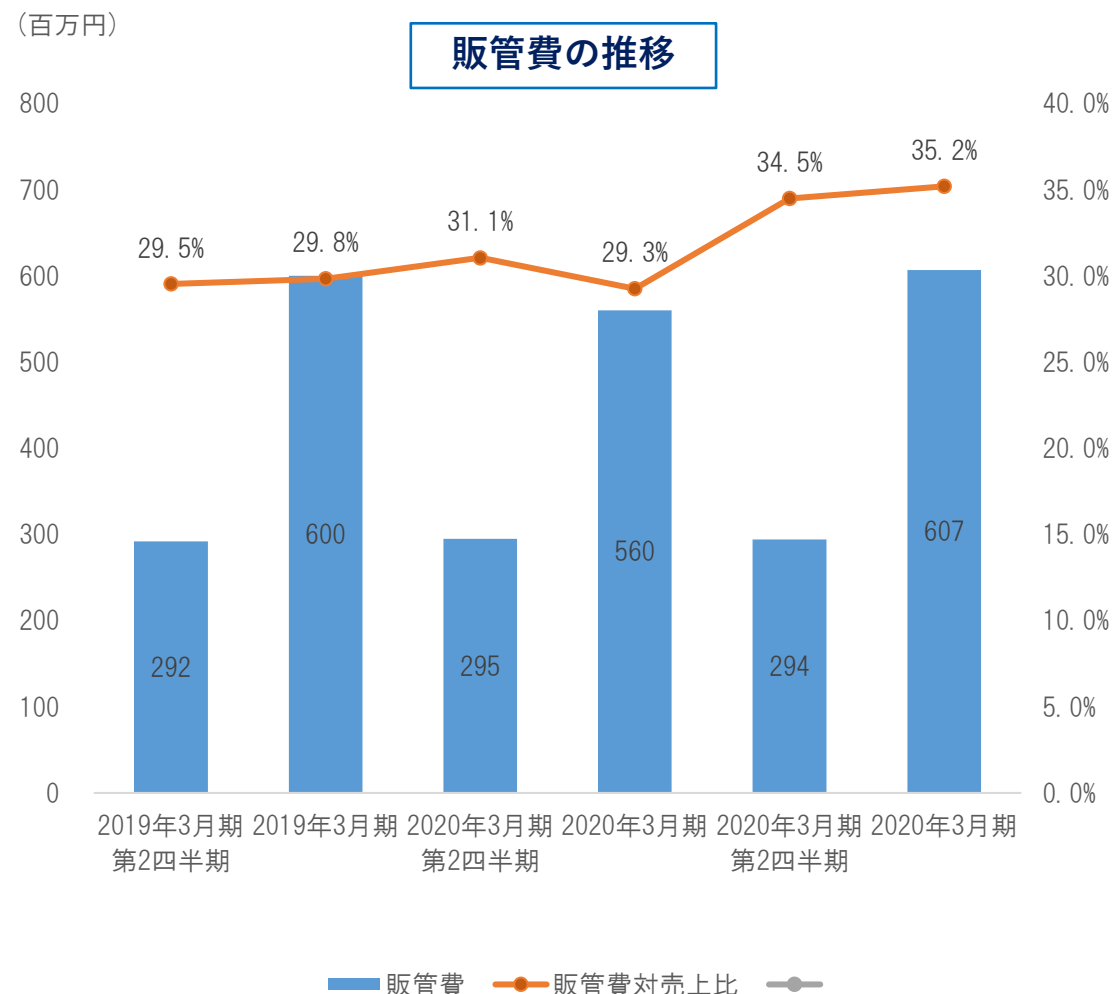


(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

利益要因分析 2要素

② 販管費 (JTEC単体)

- 人材獲得および社内インフラ強化を継続、販管費率 前期比5.9%増
- 更なる効率化と合理化を推進し、利益体質の強化を図る
- 2022年度以降も技術系人材の獲得強化を継続、早期テクノロジスト700名体制確立を急ぐ
- 新規事業領域にも積極的に取り組むため、販管費は増加する計画



(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要

連結貸借対照表

➤ 純資産：自己株式取得で減少、自己資本比率45.0%（前期比5.7%減）

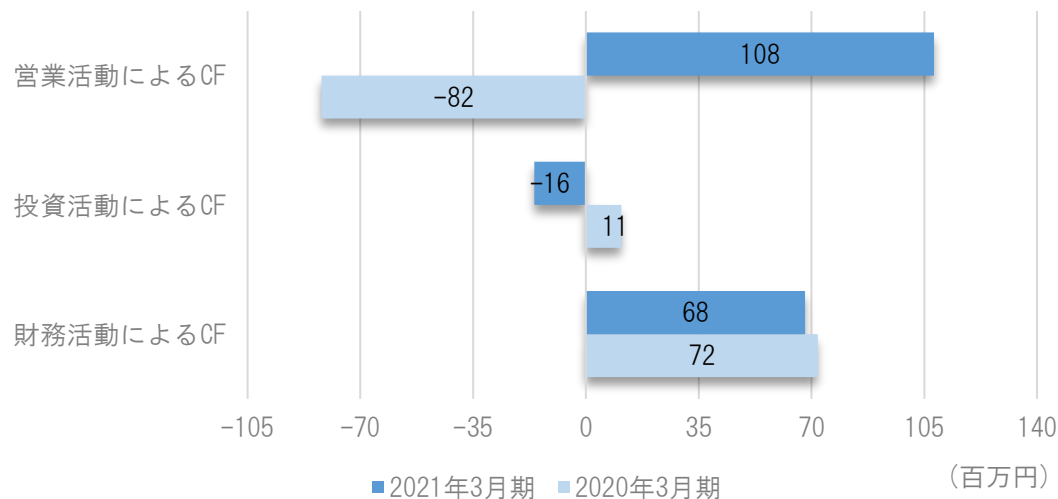
科目	2020年 3月期	2021年 3月期	増減額	主な要因
流動資産	1,664	1,795	130	現金及び預金の増加
有形固定資産	14	25	10	
無形固定資産	3	2	△1	
投資その他の資産	136	146	9	
資産合計	1,819	1,969	149	
流動負債	491	498	7	
固定負債	403	583	180	長期借入の実行
純資産	924	887	△37	自己株式の取得
負債純資産合計	1,819	1,969	149	

(単位：百万円)

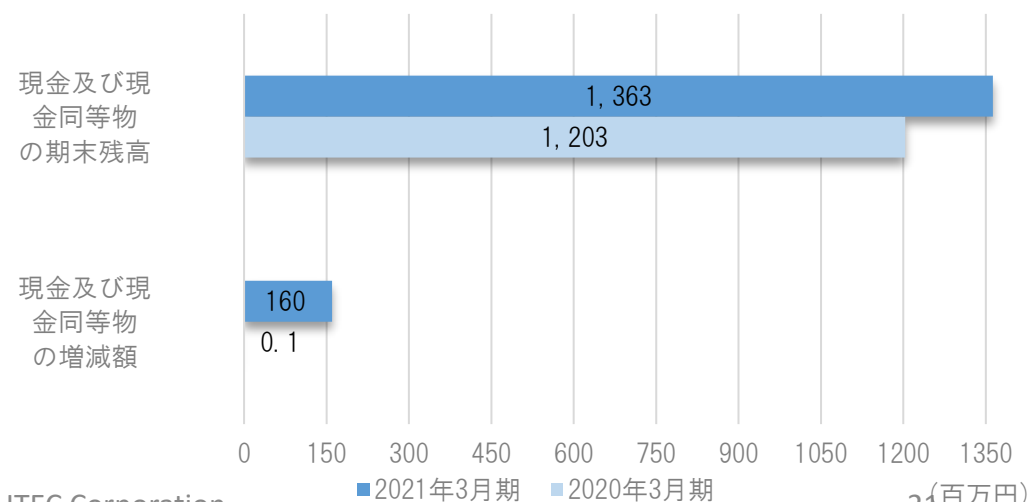
(2) 第25期 (2021年3月期) 決算概要 連結キャッシュフロー計算書

- 営業活動による CF :
 - 当期純利益計上、売上債権の減少
- 投資活動による CF :
 - 有形固定資産の取得、敷金・保証金差入支出
- 財務活動による CF :
 - 資金計画に伴う長期借入の実行

※不良債権等はなく、問題ない認識



- 現金及び現金同等物の期末残高
 - 前期比160百万円増
- 現金及び現金同等物の増減額
 - 長期借入の実行で、全体で160百万円増



ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第25期（2021年3月期）決算概要

➔ (3) 第25期（2021年3月期）状況総括

(4) 経営理念の実践

(5) 中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）



市場環境

- 新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響
- 政府の「脱炭素」方針による電気自動車や燃料電池関連、自粛やリモートワーク増加による新しい需要の発生
- バイデン政権の対中強硬姿勢に日本が同調したことによる、日中関係の悪化懸念

注目業界

- 次世代自動車関連の研究・開発
- AI、IoT、ビッグデータ活用など
情報技術分野
- 次世代移動通信(第5世代)の実用化
に向けた情報通信分野

人材業界

- 2021年3月の有効求人倍率1.10倍。前年同期1.55倍から▲0.45ポイント減
- 技術派遣の上流工程は景気の影響を受けにくいため、人材獲得競争は依然熾烈

(3) 第25期(2021年3月期) 状況総括

法制度関連における当社の人材派遣

➤ 働き方改革「長時間労働の是正」への対応

当社は前期中に勤怠管理システムの整備、勤務状況の管理体制強化、労使協定(36協定)見直しも完了済。コロナ影響で、長時間労働の低減はさらに進む見通し

➤ 2020年4月施行 労働者派遣法「同一労働同一賃金」は、2021年4月より 中小企業での運用も開始

「派遣先の労働者との均等・均衡待遇」または「一定の要件を満たす労使協定による待遇」のいずれかの待遇を確保することが義務化

今後の関連裁判や同業他社の動向を注視し、随時対応を継続

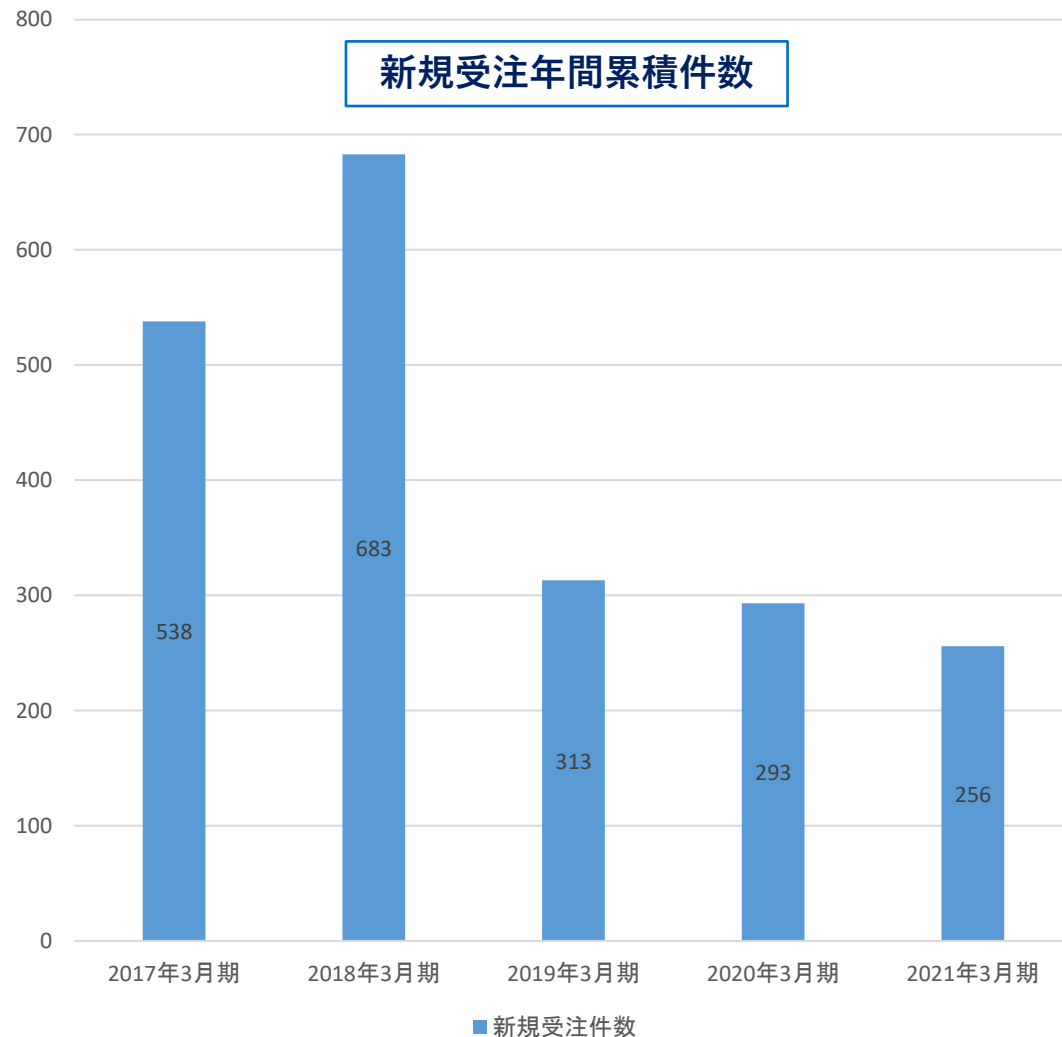
➤ 働き方改革「年次有給休暇の取得義務化」への対応

従業員に年間5日以上の有給休暇取得を義務付け

当社は従前より有給休暇取得を推進しており、影響は見られない

(3) 第25期 (2021年3月期) 状況総括 新規受注状況について

- 新規受注獲得件数は前年比約 12%減
- コロナ禍による営業活動の鈍化が影響
- 最新技術を含めた開発需要は旺盛と予測しており、当社テクノロジスト需要も底堅く見込む
- Web中心の営業施策を推進し、当社グループの知財力及び営業ネットワークの有効活用で新規受注獲得に注力
- 社員サポートの強化および高付加価値業務へのローテーションを推進



(3) 第25期 (2021年3月期) 状況総括

配当について

- 2021年3月期の期末配当は、経営成績・財務状況と経済情勢を総合的に勘案し、**1株当たり1円**を定時株主総会に付議（配当性向 19.6%）
- 2022年3月期の期末配当は、現時点で1株当たり1円予定
積極的な事業展開に備えるため内部留保に努めつつ、継続的な利益配分

	配当金	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
2020年3月期	1円	9.5%	0.9%
2021年3月期	1円	19.6%	0.9%
2022年3月期 (予想)	1円	131.4%	—

配当性向(%) = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当期純利益

純資産配当率(%) = 1株当たり配当金 ÷ ((期首1株当たり純資産 + 期末1株当たり純資産) ÷ 2)

ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第25期（2021年3月期）決算概要

(3) 第25期（2021年3月期）状況総括

 (4) 経営理念の実践

(5) 中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）

経営理念

技術者の地位向上と業界最高の収入を実現し
創造的個人経営者集団を形成させる

社訓

スピード アンド シンプル

全ての業務はスピードとシンプルを重要視する

(4) 経営理念の実践

経営理念の施策



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

① 人材採用と育成の強化

② 事業の多角化

① 人材採用と育成強化 < 基本方針 >

ジェイテックの教育方針

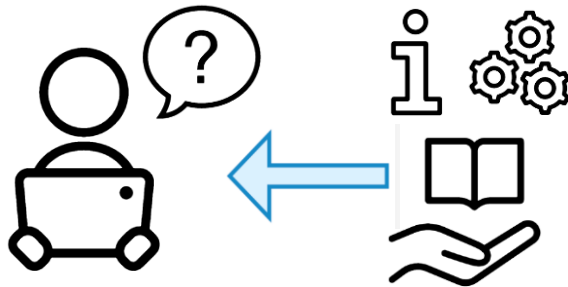
- ① 適応力を持った市場価値の高い技術者育成
- ② グローバル人材の育成

完全Web対応で、お客様・従業員・関係者の安全を確保し、コロナ禍でも技術者教育を推進

採用

研修・技術支援

顧客・課題フォロー



① 人材採用と育成強化 < 育成制度の充実 >

技術専門教育とともに様々な教育・研修プログラムを提供

プレマネージャー研修制度

会社経営のノウハウや、
事業運営について学べる研修制度

マイスター制度

技術力と人間性を兼ね備え、社員の規範と
なるテクノロジストを対象とした認定制度

e-ラーニング

インターネットを利用した自宅学習システム
進捗度・習熟度をサポートする自社開発の
教育プラットフォーム

社外留学制度

国内外の大学院やビジネススクールに
「留学」し、自己スキルを高める制度

社内講習会

先輩社員・外部講師が講師となり
技術力向上を図れる勉強会

自己啓発支援

資格取得支援(受験料負担等)
展示会への参加(費用負担)

カスタマイズ研修

支援先の開発環境に合わせたツール習得
キャリア支援のフォローを目的とした研修

フォローアップ研修

キャリア支援のフォローを目的とした研修
入社2~5年目が対象で同期交流あり

① 人材採用と育成強化 < 自社開発創出の土壌・環境 >

例1：多言語対応注文支援システム 「ぐるくる」

- ▶ 平成29年度補正予算 IT導入支援事業
「IT導入補助金」対象システム認証取得
- ▶ キャッシュレス決済対応
- ▶ 注文支援システム特許（特許第5863999号）



例2：派遣会社向け勤怠管理クラウドサービス 「staff-one」

- ▶ 平成29年度補正予算 IT導入支援事業
「IT導入補助金」対象システム認証取得
- ▶ 働き方改革に伴う勤怠管理システム更改



staff-one



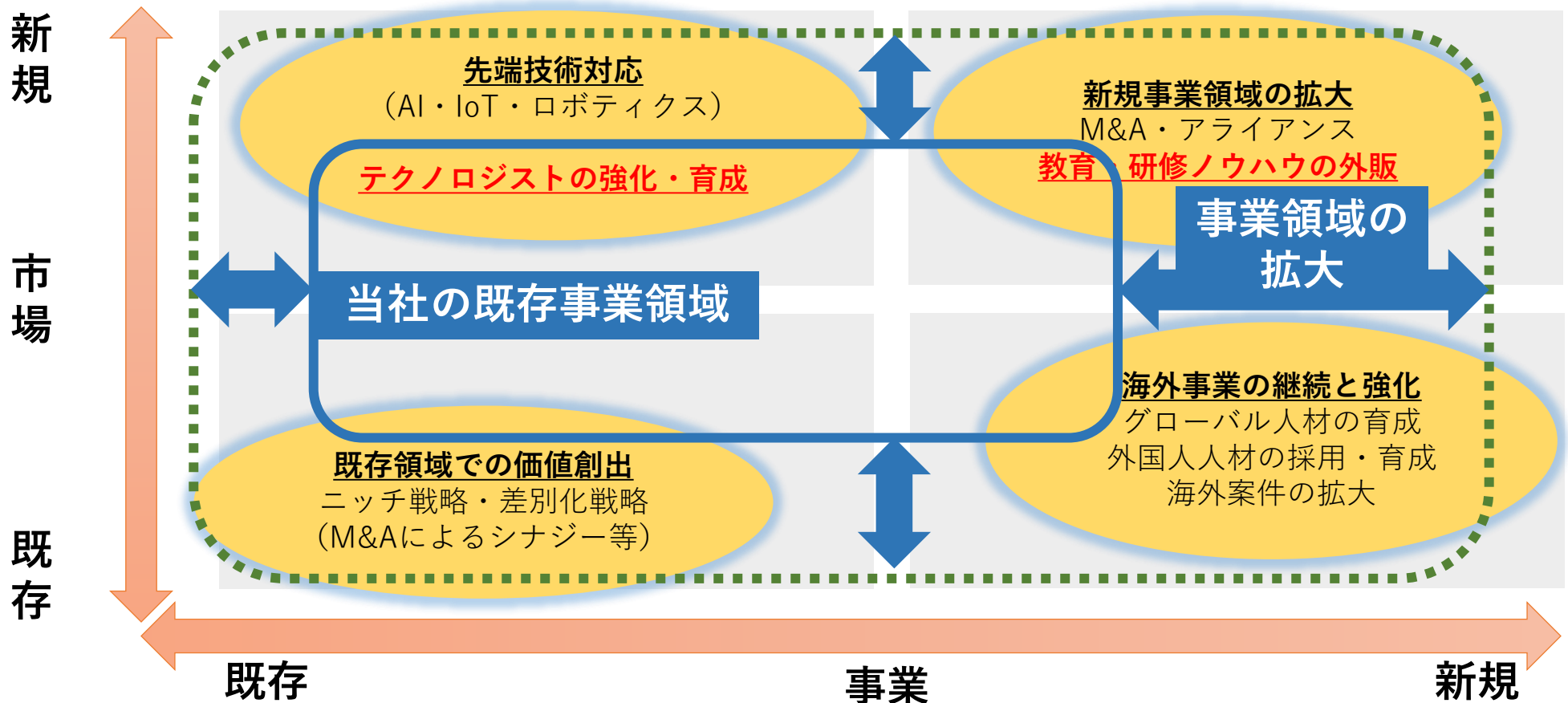
【完全ボトムアップ型の自社開発サービス】

当社開発のサービスは、“これがあれば人の助けになる”
“こうすれば解決できる課題がある”といった社員が日々の業務を通じて得たタネから企画が始まる「**ボトムアップ型**」が特長で、
『**アウトプットできる環境**』が社内にもあることを重要視している

(4) 経営理念の実践 経営理念の施策

②事業の多角化

既存事業の他、中長期的に技術力を基盤とした事業領域の拡大を狙う



ONE TEAM

(1) 会社概要

(2) 第25期（2021年3月期）決算概要

(3) 第25期（2021年3月期）状況総括

(4) 経営理念の実践

 (5) 中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）

(5) 中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期)

基本目標



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

ONE TEAM

<いまこそ、1つに>

- **持続的な成長に向けた収益基盤の強化**
 - 能力を重視した厳選採用の継続し、**テクノロジスト700名体制**の早期実現
 - 技術力と高いヒューマンスキルを兼ね備えた**テクノロジスト**の育成
 - グループ内連携をさらに推進し、**採用・営業の強化と効率化**を推進
- **財務基盤の一層の強化と安定した株主還元**
 - 持続的成長を支えるための**財務体質強化**
 - 社内分配と安定継続的な**株主還元**
- **投資の拡大による成長の促進と多角的な収益源の確保**
 - **新技術分野**へのアライアンスやM&Aへの注力
 - **収益源の多角化**による事業ポートフォリオ拡大

技術職知財リース事業の事業基盤をより強固なものとしつつ
事業の多角化を推進し、企業価値の向上・株主価値の向上を実現

(5) 中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期) 業績目標 (連結)



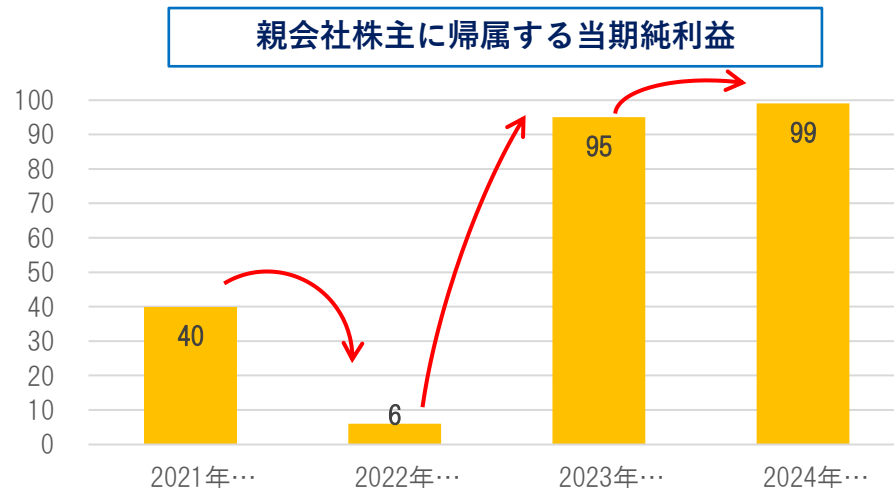
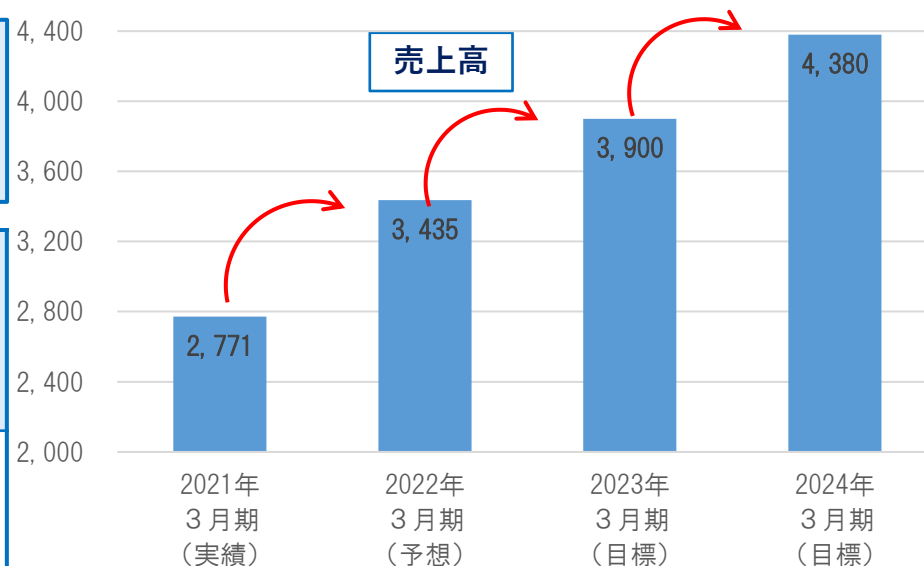
技術商社®
株式会社 ジェイテック

ONE TEAM

-いまこそ、1つに-

	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	2023年 3月期 (目標)	2024年 3月期 (目標)
売上高	2,771	3,435	3,900	4,380
営業利益	-56	10	170	188
経常利益	78	28	161	169
親会社株主に 帰属する 当期純利益	40	6	95	99

(単位：百万円)



参考資料

当社について



技術商社[®]
株式会社 ジェイテック

設立

1996年 8月16日

代表者

代表取締役社長 藤本 彰

事業内容

- 技術職知財リース事業（技術者派遣及び請負業務）
- 機械設計開発、電気電子設計開発、ソフトウェア開発
- ソフトウェアの自社開発及び開発受託
- 有料職業紹介業務、介護事業
- 各種技術サービス・技術教育サービス・総合コンサルタント業務
- 一般派遣事業(連結子会社)

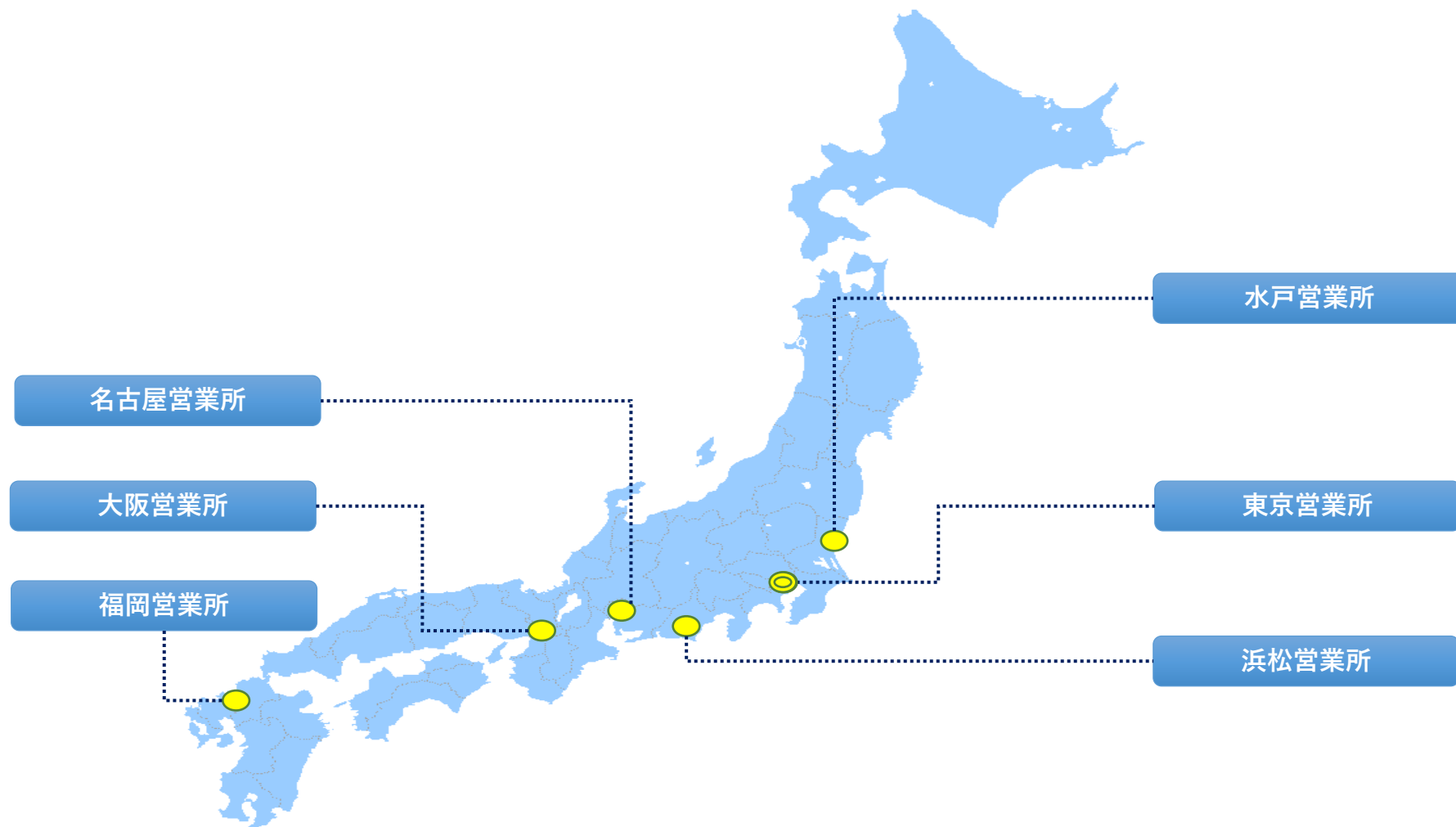
連結子会社

- 株式会社ジェイテックアドバンステクノロジー（当社100%出資）

従業員

222名（2021年 3月31日現在）

全国事業拠点（6 主要都市）



ご高覧ありがとうございました

お問い合わせ：IR 担当窓口

部署 : 経営企画室
役職 : 室長
氏名 : 村田 竜三
電話 : 03-6228-6463
FAX : 03-6228-8866
E-Mail : ir-info@j-tec-cor.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、信頼できる各種データに基づいて作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。